

情報社会学会 平成 19 年度活動報告

本学会の主な活動

【第 3 回総会・2007 年研究発表大会】

6 月 9 日（土）多摩大学品川ルネッサンスセンター 参加者 94 名

公文俊平 情報社会学会会長 挨拶

第 1 セッション：創発とプラットフォーム 座長：土屋大洋（慶應義塾大学）

(1) 深見嘉明・國領二郎

「意図せざる協働-ソーシャルブックマークにおけるボトムアップメタデータ生成による情報共有-」

(2) 飯盛義徳

「地域情報化プロジェクトにおける事業創造のマネジメント」

(3) 井庭崇

「オープンコラボレーションのメカニズム-オープンソース開発再考」

第 2 セッション：次世代情報システム 座長：土屋大洋（慶應義塾大学）

(1) 倉谷光一・渡敏弘

「通信インフラのコンテキスト転換」

(2) 須子善彦・村井純

「ユーザ間の主観的センスの共感を用いたブログ検索システム」

(3) 学会活動 SNS への移行について（運営委員会）

講演：村上輝康 野村総合研究所理事長「情報社会の設計課題：産業の視点」

第 3 セッション：世界システム論と情報社会 座長：井口 均（財団法人高速道路技術センター主任研究員）

(1) 前田充浩

「開発援助規制の開発レジームに関する世界システム論分析」

(2) 齊藤豊

「アメリカのサービス・アウトソーシングに見る貿易と労働者移入問題」

(3) 大田貴昭

「Internet Constitution は必要か-米国憲法学におけるインターネット研究第 2 世代の議論をめぐって-」

講演：鈴木寛 参議院議員「セカンドライフとソーシャル・プロデュース」

情報社会学会第 3 回総会

第 4 セッション：自由課題 座長：大橋正和（中央大学）

(1) 折田明子・三木草・小川美香子

「発信しづらい情報交換における匿名性の効果-ダイエット食品クチコミ調査から」

(2) 天笠邦一

「育児活動をめぐるメディア消費と家族/家庭の構築」

(3) 清水たくみ・井庭崇

「Web2.0 時代における創造のマネジメント」

(4) 柳橋達也

「米国ガス市場自由化政策の評価に関する研究」

【学会 SNS】

本年度は、試行的に学会 SNS を立ち上げ試験運用を行った。その結果、学会活動を SNS を利用して行う場合の問題点として会員自身の初期設定の必要性、学会運営を SNS 上で実施する場合の学会諸規則との関係、学会活動が残すべき成果の表示方法等が検討された。また、編集機能などソフトウェア自身の問題点も指摘された。その結果、次年度に運用を開始するために会員による初期設定や SNS の拡張も含めて学会活動にふさわしい利用方法を試行することとしそのための方策を検討した。

【運営委員会】計 9 回開催

【編集委員会】投稿査読、学会誌発行に関する事務的処理を電子的手段により開催

【シニアエディタ研究会】投稿論文査読について逐次電子的に開催

各部会活動

【情報社会部会】

1. 昨年度に引き続き情報社会学のコアになる理論の構築と応用について調査研究を進めるとともに関連する諸組織と協力して産学官の連携を推進した。

情報社会学会誌 Vol.2 No.1【特集論文】の翻訳および編集

George Modelski 山田百合子 / 訳

「進化論的過程としてのグローバリゼーション」

山内康英

「3 段階のグローバリゼーションと近代」

Gerald Silverberg 大手方如 / 石橋啓一郎 / 訳

「波が波になる時：複雑系と社会の長波」

大手方如

「長波の周波数解析手法に関する補論」

Ander Korotayev, Artemy Malkov, Daria Khaltourina, 丘雄二 / 訳

「社会のマイクロダイナミクス：世界システムの成長とコンパクト・マクロモデル」

2. 公文会長の主導により一般認識研究会を組織して週 1 回の研究会を継続して開催し、情報社会学の基礎理論の検討を行っている。

3. 創発パターン研究会を組織して月 1 回の研究会を継続して開催し、情報社会学に関係するシステム理論関係の検討を行っている。

4. このほか国際大学グローバル・コミュニケーション・センターを中心に学会 SNS のシステムを構築し学会員に提供する準備を行った。

【ネットワーク部会】

1. インターリアリティ研究会

担当：土屋大洋、井庭崇、熊坂賢次

ネットワークのネットワークとしての「インターネット」の研究を超えて、そのネットワークの外側にある現実(リアリティ)をつなぐという意味の「インターリアリティ」という新しい概念を構築するための研究活動を行った。研究会は、原則として毎週月曜 13:00～16:00、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスで行った。参加者は、土屋大洋、井庭崇、熊坂賢次の学会員の他、大学院生・学部生など。文献購読、研究発表、修士論文の検討などを行った。

2. 通信と放送の融合に関する国際比較研究

担当：土屋大洋、國領二郎

通信と放送の融合に関する法制度の整備が2010年頃に予定されているのを見据え、日米英韓の法制度に関する比較研究を行い、政策提言を行った。

(1) DIPP プロジェクトとの連携

通信・放送 WG と連携し、デジタル時代の通信・放送法体系の世界的モデルの提案に向けた WG 会合を行った。

2007.7.10 第1回通信・放送法制 WG 会合

「2015年の通信放送法体系試案」(中村伊知哉 慶應義塾大学DMC機構教授)

2007.9.11 第2回通信・放送法制 WG 会合

「情報通信と著作権の新制度について」(菊池尚人 慶應義塾大学DMC機構准教授)

2007.10.23 第3回通信・放送法制 WG 会合

「欧州における通信と放送の融合論議」(土屋大洋 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科准教授)

(2) SFC Open Research Forum2007にて中間ワークショップ開催

「通信と放送の融合をデザインする」

日時：2007年11月22日 11:50-13:20

場所：六本木ヒルズ アカデミーヒルズ

登壇者：

Christopher T. Marsden (Co-Director, LL.M. in IT Media and E-Commerce Law, University of Essex Law School)

Kim Sangbae (ソウル大学国際関係学部教授)

上田 正尚 (日本経済団体連合会産業第二本部情報グループ長)

國領 二郎(総合政策学部教授)

中村伊知哉 (DMC 機構教授)

金 正勲 (DMC 機構准教授)

土屋 大洋 (政策・メディア研究科准教授)

(3) 2008年2月26日に国際シンポジウムを開催

1. 日時 2008年2月26日(火) 13:00-18:00

2. 場所 経団連会館 11階 国際会議場

3. プログラム

【第1部 基調講演】

トーマス・ヘイズレット 米・ジョージメイソン大学教授

ケネス・クーキエ 英・エコノミスト特派員

イ・ミョンホ 韓・延世大学教授

中村伊知哉&國領二郎 日・慶應義塾大学教授(対談)

【第2部 パネルセッション】

内藤 茂雄 日・総務省情報通信政策局通信・放送法制企画室長

クリス・マーズデン 英・エセックス大学 IT メディア・電子商取引法ディレクター

キム・サンベ 韓・ソウル国立大学教授

上田 正尚 日・日本経団連産業第二本部

金 正勲 日・慶應義塾大学准教授

土屋 大洋 日・慶應義塾大学准教授

3. プラットフォームデザイン

担当：國領二郎、飯盛義徳、小川美香子、高橋明子、折田明子

情報プラットフォームの観点よりビジネス・社会モデルの構築のための研究活動を行う。具体的には、ID 技術の活用と情報開示システム、ヘルスケア、地域経済自律化、消費者同士の情報交換等を対象に以下の研究会を実施した。

(1) 2007年6月26日(火)15:00-18:00

開催概要と年間テーマ、研究者紹介

「小売店の協働を目的とした消費者決済プラットフォーム」

講演者:梅嶋真樹 SFC 研究所/大学院政策メディア研究科講師

(2) 2007年7月24日(火) 15:00~18:00

テーマ:「信頼形成とプラットフォーム」

講演者:

飯盛 義徳 (慶應義塾大学環境情報学部講師)

小川 美香子(東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科助教)

ゲスト:大見 英明 (コープさっぽろ 専務取締役 理事長)

大西 義威 (びあ株式会社 取締役執行役員)

古川 公成 (慶應義塾大学名誉教授、放送大学教授)

柵 富雄 (市民塾事務局長)遠隔参加

横尾 敏史 (鳳雛塾事務局長)遠隔参加

(3) 2007年9月25日(火) 15:00~18:00

テーマ:「ヘルスケアにおける CGM(Consumer Generated Media)の活用」

担当:

秋山 美紀(慶應義塾大学総合政策学部講師)

折田 明子(慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員(訪問))

ゲスト:和田 ちひろ(いいなステーション 代表)

杉山 博幸 (株式会社メディエイド 代表取締役社長)

服部 英一(ヤフー株式会社検索事業部/Yahoo!知恵袋・Yahoo!商品検索プロジェクトリーダー)

岡本 真 (ヤフー株式会社検索事業部/企画部ソーシャルサーチ企画リーダー)

(4) 2007年11月22日(木) 10:00~11:00

テーマ:「地域の IT 産業育成のプラットフォーム」

講演者:

飯盛 義徳 (慶應義塾大学環境情報学部講師)

中野一英 (株式会社 NDKCOM 専務取締役)

井川吉嗣(株式会社ドゥアイネットオープンソリューション部部長)

林幹人(桜美林大学ビジネスマネジメント学群講師)

(5) 2008年1月22日(火) 15:00~18:00

テーマ:「テーマ:地域情報化の課題と、あるべきアーキテクチャ(ゴール)~現世ご利益(私益)と理念(公益)、どちらを先に設計すべきか?」

講演者:

梅嶋真樹(SFC 研究所/大学院政策メディア研究科講師)

岸本晃 ((有)プリズム代表取締役)

高橋明子(慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員(訪問))

(6) 2008年3月25日(火) 15:00-18:00

まとめと総括

パネリスト:

飯盛 義徳 (慶應義塾大学環境情報学部講師)

小川 美香子(東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科助教)

林幹人(桜美林大学ビジネスマネジメント学群講師)

梅嶋真樹(SFC 研究所/大学院政策メディア研究科講師)

折田 明子(慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員(訪問))

【次世代部会】

1. 研究会

分散協調ワーク分科会：

(1)2007年5月19日(土) 13:30-16:00

中央大学後楽園キャンパス

e-Health とリハビリテーションに関する研究

(2)2007年6月23日(土) 13:30-16:00

中央大学後楽園キャンパス

テレワークと分散認証技術の研究

(3)2007年7月14日(土) 13:30-16:00

中央大学後楽園キャンパス

次世代分散認証技術の動向研究

(4)2007年9月22日(土) 13:30-16:00

中央大学後楽園キャンパス

次世代 iDC の技術に関する研究

(5)2007年10月20日(土) 13:30-16:00

中央大学後楽園キャンパス

ソフト資源の最新動向、プライバシー権の研究

(6)2007年11月24日(土) 13:30-16:00

中央大学後楽園キャンパス

地底空間データセンターと ICT の省エネルギー技術に関する研究

(7)2008年1月19日(土) 13:30-16:00

中央大学後楽園キャンパス

ソーシャルデザインの理論的研究

2. 講演会・セミナー

Web Services シンポジウム 6月28日(木) 全日空ホテル

プログラム

【記念講演】 「次世代 Web と社会基盤の構築について」

Web サービスイニシアティブ会長 大橋正和

(中央大学総合政策学部教授、学部長)

【特別講演】 「次世代の社会システムに求められる情報通信技術の動向」

加治佐俊一(マイクロソフト 最高技術責任者)

【パネル討論】 「次世代 Web に基づく "Social Design Technology" の確立に向けて」

司会：大橋正和会長

中村彰二郎(サン・マイクロシステムズ)

坪田幸司(東京電力、テプコシステム)

岡嶋裕司(関東学院大学経済学部准教授)

3. 「分散認証による知財の原本性の証明」 科学研究費共同研究

分散協調分科会と共催

2007年7月14日(土) 13:30-16:00

中央大学後楽園キャンパス

次世代分散認証技術の動向研究

4. 「次世代の認証システムの在り方に関する調査研究」 総務省受託研究

2007年5月12日(土) 13:30-16:00

次世代の認証システムの在り方に関する調査研究報告会

5. 「Web2.0 時代の人間行動」 中央大学共同研究プロジェクト、情報社会学会共催

2008年3月8日(土) 13時～17時

中央大学駿河台記念館 680号室

「メディア環境の変化と広告」岸勇希(電通IC局コミュニケーションデザイナー)

「市民による表現と問題意識-日本におけるパブリックアクセスの可能性」

廣田衣里子(中央大学大学院)・松野 良一(中央大学教授)

「地域メディア 2.0-映像による情報発信」高谷 邦彦(稚内北星学園大学准教授)

「GPS携帯電話を使った地域情報化の試み」佐藤 建(中央大学大学院)

「新聞ブログを使った表現方法と地域情報化」小塚 悠美加(中央大学大学院)

「サイバー法と契約行動」平野 晋(中央大学教授)

「シチズン・セントリックの考え方-次世代における公共の概念-」

大橋 正和(中央大学教授)・堀眞由美(白鷗大学教授)